

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 28 年 6 月 23 日 (2016.6.23)

【公表番号】特表 2015-527689 (P2015-527689A)
 【公表日】平成 27 年 9 月 17 日 (2015.9.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-058
 【出願番号】特願 2015-516710 (P2015-516710)
 【国際特許分類】

F 2 1 V 25/10 (2006.01)

F 2 1 V 23/00 (2015.01)

H 0 1 H 85/02 (2006.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 V 25/10

F 2 1 V 23/00 1 6 0

H 0 1 H 85/02 S

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 4 月 6 日 (2016.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

固体状態照明装置のためのヒューズ・抵抗装置であって、前記固体状態照明装置は、発光ユニット及び前記発光ユニットを駆動する回路基板を有しており、前記ヒューズ・抵抗装置の少なくとも一部は、電力供給ソケット内に収容される接続ピンを具現しており、前記接続ピンは、伝導性構造と、前記伝導性構造を支持していると共に部分的に囲んでいる絶縁性支持構造とを有し、前記伝導性構造は、ダンピング抵抗器を有し、前記ヒューズ・抵抗装置は、更に、前記回路基板が前記ダンピング抵抗器によって生成される熱の影響を受けないように前記ダンピング抵抗器に接続されているヒューズを有することを特徴とする、ヒューズ・抵抗装置。

【請求項 2】

前記伝導性構造は前記ヒューズを有する、請求項 1 に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 3】

前記ダンピング抵抗器及び前記ヒューズは、1 つの要素に一体化されている、請求項 2 に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 4】

前記ヒューズは、別個の構成要素である、請求項 1 又は 2 に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 5】

前記伝導性構造は、第 1 の端部と、第 2 の端部と、前記第 1 の端部及び前記第 2 の端部を相互接続していると共にワイヤ導体により構成されている中間部とを有し、前記支持構造によって囲まれており、前記第 1 の端部は前記接続ピンの少なくとも一部を構成し、前記第 2 の端部は前記固体状態照明装置の回路基板と接続されるように配されている、請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 6】

更に、前記固体状態照明装置のハウジングに取り外し可能に取り付け可能である、請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 7】

前記支持構造は差し込みピン要素を有する、請求項 6 に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 8】

前記支持構造は外側のネジ山を有する、請求項 6 に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 9】

少なくとも前記支持構造の前記ワイヤ導体の少なくとも一部を囲んでいる部分は、透過性材料でできている、請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 10】

前記第1の端部は、第1の端部キャップを構成している、請求項 1 乃至 9 の何れか一項に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 11】

前記第2の端部は、第2の端部キャップを構成している、請求項 1 乃至 10 の何れか一項に記載のヒューズ・抵抗装置。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 の何れか一項に記載のヒューズ・抵抗装置を有する固体状態照明装置。

【請求項 13】

請求項 4 に記載のヒューズ・抵抗装置と、駆動回路が取り付けられている回路基板とを有する固体状態照明装置であって、前記ヒューズは前記回路基板に取り付けられている、固体状態照明装置。